

NTTファシリティーズでは、倫理的・遵法的で統制のとれた経営体制を整備することは勿論、社会に貢献し続ける経営を可能とする体制を積極的に構築することも、社会の公器として等しく徹底すべき「CSR経営の基盤」と位置づけています。

■ 企業ビジョン

ビジョンをもち挑戦する

私たちは、社員全員が夢と志を持って目標に向かってチャレンジするとともに企業として大きく羽ばたくために、NTTファシリティーズグループの存在意義は何か、真の強みはどこにあるのか、社会にどのように貢献していくかについて議論を重ね、企業ビジョンに“使命”を追加するとともに行動指針を再整理しました。使命は「私たちは何のために存在しているのか」であり、行動指針は「私たちの考え方や概念の基点・基準」です。

私たちは企業ビジョンを全員の指針とし、最先端で高品質な製品・サービスを提供し続けます。

| 企業ビジョン浸透に向け

企業ビジョンは、NTTファシリティーズグループの事業のさまざまな場面において、私たちならではの価値創造ならびに持続可能な社会の実現に向けたプロフェッショナルな行動のよりどころとなります。このため、経営層も定期的に参画する啓発活動を全ての社員を対象に実施しています。また折々で社内報・社内イントラネットなどを通じた発信も実施し、CSR指針群とも歩をあわせ、確かな意識浸透を図っています。



社内報 Jump Up

企業ビジョン

使命

Smart & Safety で持続可能な社会の実現に貢献し続ける

限りあるエネルギーを効率的に無駄なく使い、自然災害などのリスクに対応できる街づくり。
私たちは持続可能な社会に貢献し続けます。

めざす姿

地球環境を考えた統合ファシリティサービスで お客様から最も信頼されるパートナーとなる

お客様の期待を超えた価値を提供する。
それが『統合ファシリティサービス』です。
この『最大の強み』で、お客様から最も信頼されるパートナーをめざします。

■ CSRの指針とテーマ

CSR憲章と重要テーマ

| NTTグループCSR憲章に即したCSR活動



NTTグループは、「NTTグループCSR憲章」を基本指針として、社会的課題の解決を通じた持続的な成長の実現に努めています。

「NTTグループCSR憲章」は、グループのあり方を表現した「CSRメッセージ」と、具体的な重点取り組み項目を示した4つの「CSRテーマ」から構成されています。

| NTTアーバンソリューションズグループの一員として

NTTアーバンソリューションズグループは2019年7月、NTTグループの街づくり関連事業の事業基盤を集約・強化するため、関連事業を一括管理するべく発足しました。NTTファシリティーズはその中核企業として、社会・環境価値の創造を推進していきます。

NTTアーバンソリューションズグループの中核各社は一体的なCSRの遂行を加速するため、2020年10月に「NTTアーバンソリューションズグループ CSRビジョン」を策定。これを共有しています。NTTファシリティーズも同ビジョンを尊重しつつ、個社の事業特性や従前からのCSR活動の力点といった個性を活かすCSRの実践をめざしていきます。

NTTアーバンソリューションズ

CSRビジョン

NTTアーバンソリューションズは、NTTグループにおける街づくり事業推進会社として発足しました。傘下のNTT都市開発、NTTファシリティーズのリソースを中核に、NTTグループが持つ不動産、ICT、エネルギー、環境技術などを最大限に活用し、持続可能な社会の実現に貢献する経営をめざします。

CSRメッセージ | NTTアーバンソリューションズは、街づくりの誠実なパートナーとして個性豊かで活力ある未来の街を提案し、地域社会の発展と社会的課題の解決に取り組みます。

グループで見据えるCSRテーマ

| | |
|---|---|
| テーマ1 人と社会のコミュニケーション スマートで活力ある社会を | 私たちは、NTTグループの総合力を活かした街づくりを通して、地域の皆さまとともに、より先進的でスマートな社会の実現をめざします。私たちは、お客さま、社会の皆さまとの対話を大切に、多様性に富み、賑わいにあふれる街づくりを推進します。 |
| テーマ2 人と地球のコミュニケーション 低炭素・低負荷で、豊かな地球を | 私たちは、低炭素・脱炭素技術の提供を通して、気候変動問題の解決に取り組みます。私たちは、生物多様性に配慮するとともに、循環型の事業運営により環境負荷の低減をめざします。 |
| テーマ3 安心・安全なコミュニケーション 強靱で安心・安全な街を | 私たちは、先進技術を積極的に取り入れ、より強靱で災害に強く、安心・安全な街づくりを推進します。私たちは、皆さまの生活・経済基盤となる街を絶え間なく見守り、支え続けます。 |
| テーマ4 チームNTTのコミュニケーション 多様性を重んじ、活かす私たちを | 私たちは、ダイバーシティ&インクルージョンを実践し、豊かな地域社会づくりに貢献します。私たちは、さまざまなパートナーの皆さまとともに、高い倫理観と人権意識を持って事業に取り組みます。 |

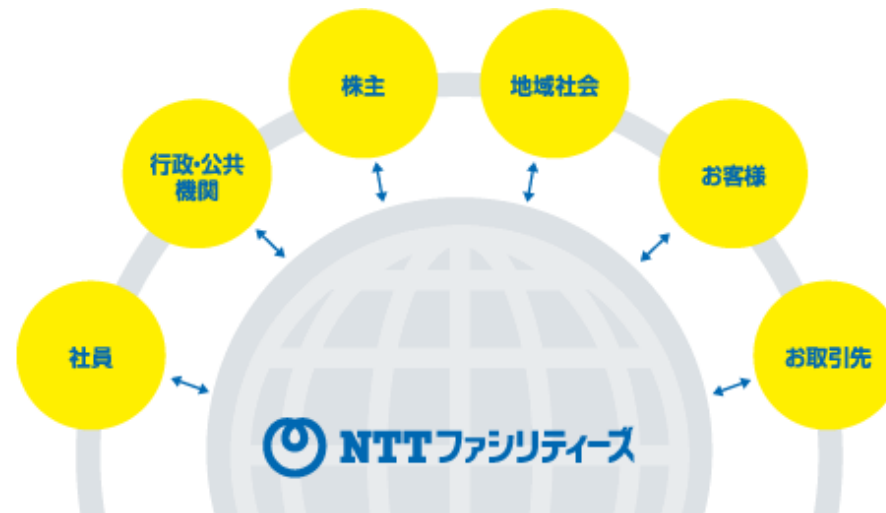
エンゲージメントの推進

| ステークホルダーとの対話と、 事業への活用の推進

ステークホルダーとの対話を通じ事業改善(エンゲージメント)を行うことが、近年、社会から強く期待されています。

私たちは、日常業務における対話を重視し、ステークホルダーの皆さまと共に歩む姿勢をグループに浸透させています。対話を通じて頂戴した皆さまの多様なご意見をもとに、倫理的で責任ある事業体制の確立は勿論のこと、社会に新たな価値を提供する製品・サービスの創造に、日々努めています。

ステークホルダーに対する基本的な姿勢と対話の機会



| ■ ステークホルダー | ■ 基本的な姿勢 | ■ ステークホルダーごとの対話機会 |
|------------|---|--|
| 地域社会 | 社会貢献活動、環境保護活動、災害対応などを通して地域の人々と良好な関係づくりを進めています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO、NGOとの連携 ・ 地域でのコミュニティ活動への参画 |
| お客さま | 安心・安全に十分な配慮をしながら良質のソリューション・サービス・商品を提供し続けることで、お客さまの期待と信頼に応えています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ お客様満足度 (CS) アンケート ・ 日々の業務を通じた対話 |
| お取引先 | パートナー企業、業務委託先、サプライヤなど、全てのお取引先と公正かつ自由な取引を行い、誠実に接しています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ お取引先との幹部交流会、情報交換会 ・ 日々の業務を通じた対話 |
| 株主 | 企業価値の向上に努めるとともに積極的な情報開示による経営の透明性の向上に取り組んでいます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 株主総会 ・ 各種IR活動を通じた意見交換 |
| 行政・公共機関 | 太陽光発電の実証研究などを通じて、自然エネルギー利用の普及・発展に貢献しています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会などでの情報交換 ・ 産官学共同プロジェクトへの参画 |
| 社員 | 快適で安全な労働環境を提供し、一人ひとりが能力をフルに発揮できる各種制度の充実に取り組んでいます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社員アンケート、ホットライン ・ 安全衛生委員会や労使協議などでの意見交換 |

■ コーポレート・ガバナンス、CSR推進体制

コーポレート・ガバナンス

NTTファシリティーズでは、経営の健全性と透明性、お客さまや社会からの信頼を維持し、企業価値を継続して高めていくため、コーポレート・ガバナンスを経営の重要課題と位置づけ、ガバナンス体制を構築しています。

| 取締役会と監査役

取締役会は取締役17名で構成され、原則、月1回開催する取締役会において、経営に関する重要事項を関係法規、経営判断の原則及び善良なる管理者の注意義務などに基づき決定するとともに、取締役の職務執行の相互牽制などを行っています。

監査役(3名)は、独立の立場から取締役の職務の執行を監査することにより社会的信頼に応える良質な企業統治体制を確立する責務を負っており、取締役会など重要な会議に出席するほか、会社の業務及び財産の状況に関する調査などを行っています。

| 経営会議と各種社内委員会

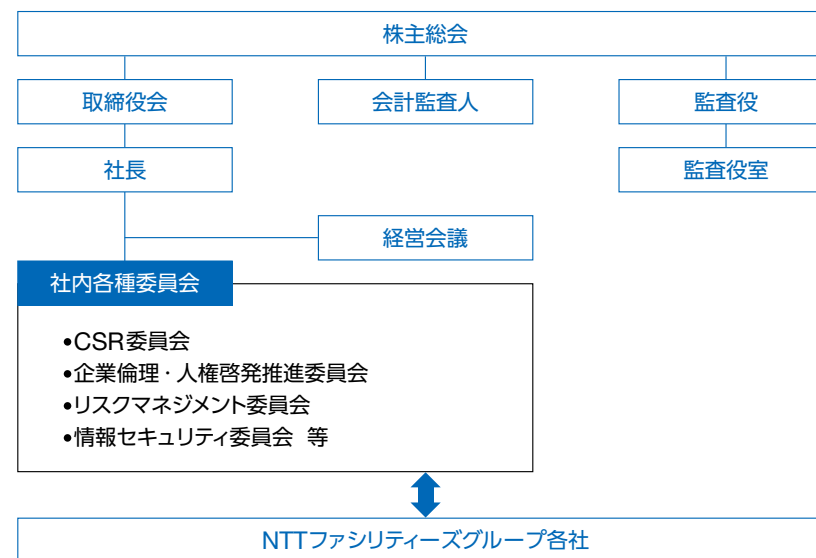
NTTファシリティーズでは、会社の重要事項について、原則として、社長、副社長、常勤取締役、各組織長及び監査役で構成する経営会議における審議を経たうえで決定しています。

また、会社経営・グループ経営に関する重要事項を課題ごとに議論し、適正な意思決定を行うための各種委員会を設置しています。

| 内部統制システム

NTTファシリティーズでは、NTTグループ全体の「内部統制システムの整備に関する基本方針」などに従い、同システムに必要な措置を実施することを取締役会で決議し、規程や体制などの整備に取り組んでいます。また、財務報告に係る内部統制システムについても、内部監査などにより有効性を確認しています。

NTTファシリティーズのガバナンス体制



コンプライアンスの徹底

近年、企業経営者及び従業員に対するコンプライアンス(倫理的かつ法的な行動の徹底)の要求は相次ぐ経営不祥事を背景に高まり続けています。NTTファシリティーズは、幅広い社会インフラを担う企業グループとして、コンプライアンスをCSひいては社会の信頼に直結する重要な経営課題と位置づけており、継続的にその徹底施策を展開しています。いうまでもなく同施策の確実な実践には経営陣の率先した垂範・関与が不可欠であり、2019年度も社内報や社内イントラネットを通じて経営陣からの情報発信を随時行うなど強いコミットメントを表明。グループ社員全員を対象としたコンプライアンス研修と併せ、確実な意識浸透を図りました。

CSRマネジメント

| CSRマネジメント体制

NTTファシリティーズグループは、NTTグループのCSRテーマに即したCSR重点活動項目を推進し社会に新たな価値を創造する一方、自社グループが社会に一層の責任を果たし続けるため、特に「企業倫理」「環境保護」「人権啓発」をCSRマネジメントの柱と位置づけています。具体的には、それぞれに社内委員会を設置し、企業ビジョンとの整合性を確保しつつ、基本方針・制度・基準・活動要領などを策定し、研修などの一体的な運営を行っています。これらをもとに、事業を通じた影響を正負両面で管理しています。

NTTファシリティーズグループ CSR推進体制

NTTファシリティーズ本社総務人事部CSR推進室

本社内組織CSR担当者

各地域会社企画部／総務部CSR担当

- NTTファシリティーズ中央
- NTTファシリティーズ東北
- NTTファシリティーズ関西
- NTTファシリティーズ九州
- NTTファシリティーズ北海道
- NTTファシリティーズ東海
- NTTファシリティーズ中国

各グループ会社CSR担当者

- NTTファシリティーズ FMアシスト
- NTTファシリティーズ総合研究所
- NTTファシリティーズ エンジニアリング
- NSFエンゲージメント
- 日本メックス
- NTT FACILITIES USA
- Unitrio Technology
- Pro-Matrix
- Electronic Environments Corporation

また、CSRマネジメントをグループ横断で推進する要としてCSR推進室を本社と各地域会社に設置し、本社CSR推進室を中心に緊密な連携を図りながら、当社グループの一体感を高め、横断的なCSR活動を推進しています。

| NTTグループの一員として

グループ一体でのCSRの推進

近年、国連総会において「持続可能な開発目標(SDGs)」の採択や、COP21での「パリ協定」の採択など、地球規模での持続可能な社会への取り組みが強く要請されています。このような背景を踏まえ、NTTグループ各社が一体となってCSRを推進していくための重要な課題(マテリアリティ)である「NTTグループCSR重点活動項目」を見直し、2019年5月に「NTTグループCSR憲章」を改定しました。

NTTファシリティーズは、改訂したNTTグループのCSR憲章を踏まえ、引き続き、グループ一体となり社会の課題解決に取り組めます。

NTTグループCSR委員会

NTTグループでは2015年度よりNTTのCSR委員会委員長(代表取締役副社長)を委員長とし、主要グループ8社のCSR最高責任者(副社長、常務取締役)を委員とした「グループCSR委員会」を設立し、グループ全体におけるCSRマネジメントの進展を図っています。

NTTグループCSRカンファレンスへの参加

NTTグループのCSRに関する優良施策をグループ横断的に共有することで、社員のCSR意識の浸透を図り、今後のCSRや社会貢献のあり方について考えることを目的として、2013年度より「NTTグループCSRカンファレンス」を開催しています。

■ 企業倫理・人権啓発・コンプライアンス

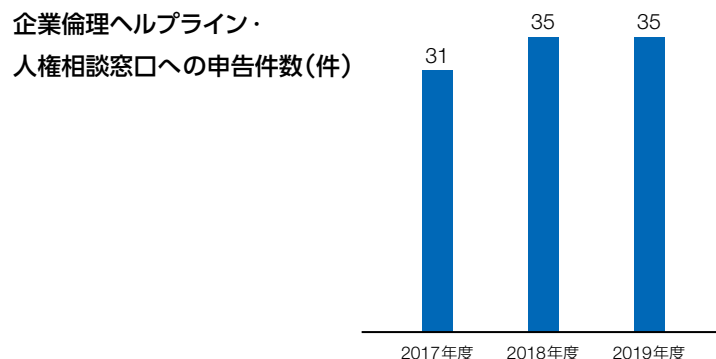
企業倫理・人権啓発推進体制

NTTファシリティーズでは、企業倫理の徹底と人権啓発の推進強化に向けた取り組みを審議・決定することを目的に、コーポレート担当の取締役を委員長とした企業倫理・人権啓発推進委員会を設置しています。同委員会は、原則として年2回定期開催するほか、社員から不正行為などの申告・相談があった事案について、事実関係の調査・究明に当たります。

相談窓口体制の充実

NTTファシリティーズでは、不正・不祥事の未然防止のみでなく、早期に問題の顕在化を図り迅速に対処することを目的に、企業倫理相談窓口として、「企業倫理ヘルプライン」を設置しています。また、NTTグループの横断的な窓口として弁護士による社外相談窓口を活用し、当社グループ内のほか、取引先など社外からの相談も受け付けています。

これらの相談窓口の周知は、社内報や社内イントラネットなどのほか、「職場の悩み110番（セクハラ・パワハラ・人権問題など）」、「カウンセリングセンタ（人間関係、家庭、仕事など）」の相談窓口全ての連絡先を記載した携帯カードを作成し、全社員に配付しています。



企業倫理意識の向上施策

NTTファシリティーズでは、不正・不祥事、人権、セクハラ・パワハラ、情報流出、飲酒運転など、企業倫理に反する事象の撲滅と企業倫理の推進を目的に毎月21日を「企業倫理の日」と定め、各職場において企業倫理に関するディスカッションを行うなど、社員一人ひとりの企業倫理意識のさらなる向上を図っています。

さらに毎年、全社員が不正・不祥事、法令違反、人権問題などについて、わかりやすく理解できるよう具体的事例を挙げて、何が不正・不祥事などに当たるのかをクイズ形式で学ぶ「企業倫理などeラーニング」も実施しています。

企業倫理・人権啓発アンケートの継続実施

企業倫理や人権啓発に関わる施策の浸透状況や社員などの意識、風通しの良い風土などについて、アンケートにより現状を把握し、NTTファシリティーズグループにおける今後の企業倫理・人権啓発活動のさらなる徹底・意識向上に向けた取り組みとしてWebアンケートを継続的に実施しています。2019年度は2020年2月にNTTファシリティーズグループ社員などを対象に実施しました(回答数:6,915名、回答率95.9%)。今後も、アンケートの結果を踏まえつつ、遵法かつ倫理的な事業慣行を企業グループ全体に維持・浸透していきます。

アンケート結果の一例

